



(一酸化炭素)



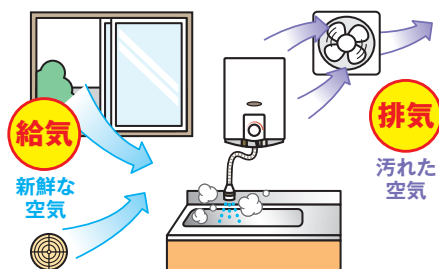
# CO中毒事故を 起こさないために

不完全燃焼が原因で発生するCO(一酸化炭素)は毒性が強く、しかも無色・無臭のため、気づかないうちに中毒症状を起こして重大な事故につながる場合があります。

## CO中毒事故を未然に防ぐポイントを守りましょう。



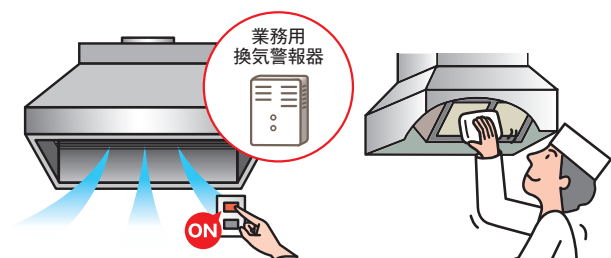
ガス機器を使う時は、必ず換気を忘れずに!



- 小型湯沸器やガスレンジなどを使う時には、換気扇を回して必ず換気(給気と排気)をしましょう。また、給気口が塞がっていないか確認しましょう。
- ガスストーブなどを長時間使う時には、部屋の窓をときどき開けて、新鮮な空気に入れ換えましょう。
- 業務用厨房では、仕込み中や営業中、常に換気扇や排気ファンが回っているか確認しましょう。また、ガスの使用量も多いため、十分な給気の確保が重要です。



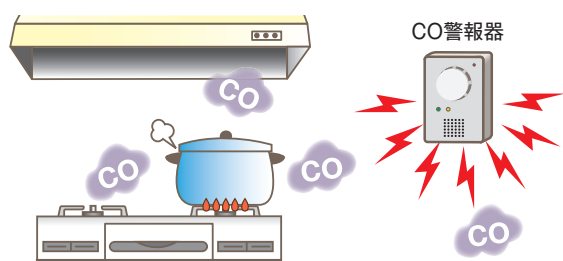
日頃からお手入れをしていますか?



- ガスレンジのバーナー部分や換気扇の油やほこりによる汚れは、CO発生の原因になります。定期的にお掃除・お手入れをしましょう。
- 業務用厨房では、フード内やダクト内に油やほこりがたまると換気不足につながります。こまめにお掃除・お手入れをしましょう。
- ガス機器の異常燃焼時には、炎が赤い、鍋や壁にススが付くなどの現象が起きます。これらの異常に気付いたら、LPガス販売店にすぐに連絡しましょう。



「CO警報器」を設置して、万々に備えて!



- 気づきにくいCOの発生をブザーや音声でいち早く知らせる「CO警報器」を設置し、事故を未然に防ぎましょう。「CO警報器」の設置には適切な場所がありますので、詳しくはLPガス販売店にご相談ください。
- 業務用厨房でCOが発生すると、従業員だけでなく、お客様も被害に巻き込むおそれがあります。業務用厨房機器には、不完全燃焼防止装置の付いていないものが多いため、「業務用換気警報器」(COセンサ)の設置をお勧めします。

# 地震など、災害後にガスを再開する時、まずは、安全確認

## 安全確認 1 ガス漏れやガス臭かったら、すぐ連絡。

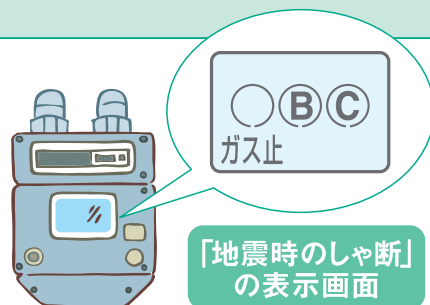
ガスを使わず、ガスの元栓、ガスボンベのバルブ、ガスメーターの所に付いているガス栓を閉め、「LPガス販売店」か「緊急時連絡先」へすぐに連絡してください。また換気扇や電気のスイッチには絶対に手を触れないでください。

## 安全確認 2 ガス器具が破損していたら、修理依頼。

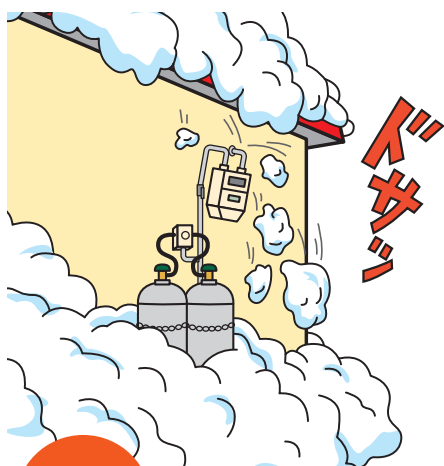
破損しているガス器具は使用せず、すぐにLPガス販売店か、ガス器具メーカーに修理を依頼してください。

### ガスメーター復帰操作の注意点

- ガスがしゃ断されている時は、ガスメーターの表示を確認してから復帰操作してください。
  - 復帰操作をしても復帰しない時は、操作を止めて「LPガス販売店」に点検を依頼してください。
- ※ガスメーターの復帰方法など、詳しくはLPガス販売店か、LPガス安全委員会ホームページ (<http://www.lpg.or.jp/>) でご確認ください。



## 雪の重さは大敵！雪害事故にご注意を



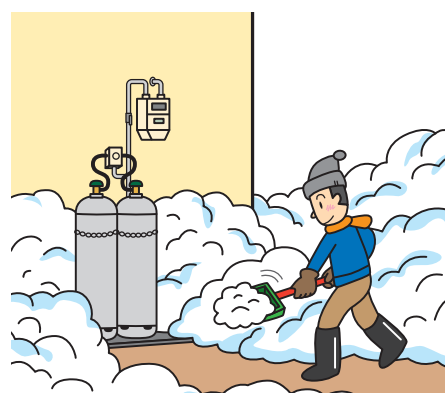
屋根からの落雪

屋根からの落雪があった時は、ガス設備の確認をしてください。



雪下ろしによる損傷

雪下ろしの時は、お隣りのガス設備にも注意してください。



ガス設備周りの除雪

お願い

緊急時に容器バルブを閉止できるよう、ガス設備周りの通路を除雪しておきましょう。

LPガス販売店

**LPガス**  
人と地球にスマイルを